

外海の文化的・人的資源を生かした講座の実践

外海公民館

1 はじめに

外海地域は、長崎市の北西部に位置し、400m前後の山間部の森林の緑と起伏にとんだ長い海岸部に見られる海の碧さを満喫できる地域である。古くから神浦・出津・黒崎・池島の4地区が、社会の情勢に影響を受けながらも、それぞれの自然の特長を生かし、他地区との交流も深めながら固有の文化をはぐくみ、発展させてきている。



2 運営内容

(1) 外海地域の4地区における自然と歴史

① 神浦地区

14世紀後期に神浦氏によって築城された神浦城の跡地から河口港周辺には歴史的なまちなみの構造、伝統的な町屋建築が現在も残っている。15世紀後半に外海地域で最初にキリスト教が急激に栄え、そして禁教政策によりわずかな期間のうちに衰退した歴史があることは興味深い。

② 出津地区

江戸幕府の禁教政策のもと、宣教師不在の中でも多くの潜伏キリシタンが信仰を守り続け、明治になりド・ロ神父による教会建築や数々の慈善事業等は周知のとおりである。2012年には石積集落景観として国の重要文化的景観に選定、2018年には神浦地区の大野集落とともに、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産の世界文化遺産に登録された。

③ 黒崎地区

出津地区と同様に潜伏キリシタンの里であり、信徒の奉仕と犠牲の結晶であるレンガ造りの黒崎教会は、着工から21年の歳月を経て1920年に完成した。付属する鐘楼は隠れキリシタンの帰依を願って設置されたものである。また、禁教時代の信仰の証といえる枯松神社や祈りの岩は必見の価値がある。

④ 池島地区

神浦港から船で30分の本地域唯一の有人島である。半農半漁の小さな島の生活は、歴史的に国内で最も新しくそして九州最後の炭鉱となる池島炭鉱の開発から閉山の40余年(1959年～2001年)によって大きく動いた。その廃坑跡は長崎市の産業遺産であり、坑内体験ツアーとして広く一般に公開されている。



(2) 講座の実践

A：文化的資源を人的資源で深化を図る講座（外海の自然と歴史）土曜日に開催

講座名	講師	目的・ねらい					振り返り (研修後の感想から)
		教養	健康	情操	文化	福祉	
県民の森の散策	地域団体	○	◎	◎	◎	○	○初めての山歩きと自然観察。講師の方の説明で、草木を見る目が変わりました。 ○自分の足で歩くことで、昔の人の生活の足跡や神浦特有の文化を体感しました。 ○棚田開拓の歴史や実際の米作りや後継者不足等の苦勞を学び、有意義な時間を過ごすことができました。 ○教会だけでなく、出津における信仰の歴史や地域的な背景がよくわかりました。 ○トロッコに乗車しての坑内探検は驚きと感動の連続でした。島内巡り・旧社宅拝観では、当時の生活に思いを馳せました。
神浦地区のまち歩き	地域住民	◎	◎	○	◎	○	
大中尾棚田を歩く	地域住民	◎	◎	○	◎	○	
出津地区の世界遺産	地域住民	◎	◎	○	◎	○	
黒崎地区のキリスト教	地域住民	◎	◎	○	◎	○	
旧池島炭鉱坑内探検	地域団体	◎	○	◎	◎	○	

B：実際生活に即する学習を人的資源で深化を図る講座 平日に開催

講座名	講師	目的・ねらい					振り返り (研修後の感想から)
		教養	健康	情操	文化	福祉	
布地で作るお人形	地域住民	○	◎	◎	◎	○	○かわいいお人形ができてうれしいです。孫もきっと喜ぶことでしょう。 ○材料が細かく不安でしたが、講師の方のおかげで楽しく制作できました。笑顔でお正月を過ごせそうです。 ○毎回楽しみで“ワクワク ドキドキ感”がたまりません。できあがるのが楽しみです。 ※スローフードは1・2月に実施予定
押絵でお正月	地域住民	◎	◎	○	◎	○	
まゆ玉飾り	地域住民	◎	◎	○	◎	○	
スローフード外海	地域住民	○	◎	○	◎	◎	

3 成果と課題（考察）

- 文化的資源関係講座は地域以外の参加者が多く、その学びにより飾り気のない外海の良さを感じているように思う。
 - 手芸やグルメ関係講座は、手作りの楽しみとできあがったものを家族や親しい人との共有する喜びにつながっている。
- ※ 地域の歴史や文化に詳しい方や諸団体にも高齢化が進み、後継者育成も視野に入れた講座の工夫が必要になっている。